



「挑」、そして「跳」へ ～1年を振り返って～

令和4年も残りあとわずかとなりました。今年一年を振り返ってみると、今年もやはり新型コロナに明け暮れた一年でした。特に、2月から3月にかけて、感染拡大に歯止めが効かず、全神経を集中させる日々が続きました。園児や保護者の皆様にも大変ご迷惑とご心配をおかけしました。



4月。新年度を迎え、これまで中止していた行事を、あれこれ工夫して復活させました。3年ぶりに家庭訪問や給食参観日、秋には焼きいも体験も再開しました。また、コロナに直接影響されない行事も新たに計画しました。各月に「お楽しみ会」と称して、忍者修行、水鉄砲大会、音楽鑑賞会、マジックショー、ハロウィンパーティー、観劇会なども各担当者が趣向を凝らした企画をしてくれました。子どもたちはこれまでにない新鮮な感覚で行事に参加し、めりほりの効いた一年になったのではないかと思います。

夏。再びコロナの波が押し寄せてきたため、さくら組のお泊まりは一日日程に縮小せざるを得なくなりました。その埋め合わせの意味も兼ね、秋のバス遠足では、以上児の教職員全員で周到な下見を行った上で、子どもたちを初めて到津の森公園に連れて行きました。後日描いた子どもたちの動物の絵には、喜びや驚き、感動が伝わる迫力のあるものがたくさんありました。

本園の今年を漢字一文字で表すとしたら、「挑」です。withコロナの時代を見据え、子どもたちも教職員も新たな挑戦をした一年だったと思います。

私も新たに挑戦したものがあります。その一つがInstagram。動画配信アプリの時もそうでしたが、この歳になってSNSを始めるとは思いもしませんでした。コロナの感染防止対策により園内に入りにくくなり、園の様子を見る機会が減ったという保護者の皆様の悩みを何とか解消するために、暗中模索で始めた次第です。もっとも、私一人ではできませんので、未満児と以上児の各主任にも力を貸してもらっています。同様に、6月からホームページもリニューアルし、両主任と事務係長との4人体制で内容の一層の充実に向けてきました。

一方、施設・設備面では、夏の猛暑対策として、以上児各クラスに2台目のエアコンを増設しました。また、つぼみ組前に大型屋根を設置し、下駄箱も備えて、送迎の際の利便性を高めました。昨年度に正面玄関までのアプローチを舗装したので、園児も保護者の皆様も、雨に難儀することはいづらか解消されたのではないのでしょうか。

さて、来年の干支は「卯」。うさぎはおとなしい性格の動物で、天敵も多いため、自分の身を守るためにいつも感覚を研ぎ澄ましているそうです。私たちも、うさぎのように感覚を鋭く磨き、あらゆる危機を想定した危機管理の強化、また、教職員の綱紀保持の徹底に努め、より安心安全な園をめざすとともに、和やかで穏やかな年にしていきたいと思っています。また、機敏で跳躍力に優れたうさぎにあやかり、今年の「挑」から来年は「跳」へとさらなる飛躍を果たしたいと思います。

年未年始にかけてコロナが再び巨大な波となって押し寄せて来ています。皆様、基本的な感染対策はこれまで同様続けられ、くれぐれも気を付けてお過ごしください。

今年一年、保護者の皆様には、園からのお願いに対して最優先でご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。（園長 寺本 明生）